



適期刈取りと適切な乾燥調製で品質のよい米づくり

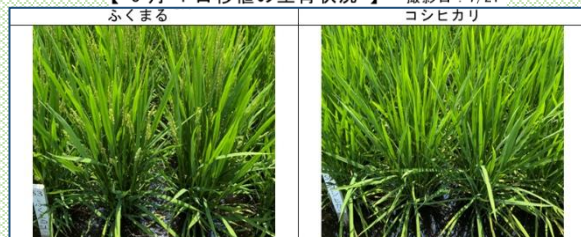
5月上旬移植のコシヒカリ・にじのきらめきの出穂期は平年並と予測されています。気象庁の関東甲信地方1か月予報(7/18~8/17)によれば、平均気温は高い確率が 60%の見込みです。かなり暑い日が続く、収穫適期が早まることが予想されます。刈遅れにならないように注意しましょう。

1. 今年の出穂期

4月下旬移植のあきたこまち、ふくまる及びコシヒカリはやや遅く、5月上旬移植のコシヒカリ及びにじのきらめきは平年並です。

品種別の出穂期 (水戸7/21時点、龍ヶ崎7/16時点予測)					(茨城農研速報より作成)				
水戸	品 種	本年度	平年値	平年との差	龍ヶ崎	品 種	本年度	平年値	平年との差
5/1移植	あきたこまち	7月17日	7月14日	+3	4/27移植	あきたこまち	7月13日	7月10日	+3
	ふくまる	7月19日	7月16日	+3		ふくまる	7月14日	7月12日	+2
	コシヒカリ	7月24日	7月24日	0		コシヒカリ	7月22日	7月19日	+3
5/11移植	にじのきらめき	7月27日	7月27日	0	5/7移植	にじのきらめき	7月25日	7月26日	-1
水戸 (農業研究所)					龍ヶ崎 (農業研究所水田利用研究室)				

【 5 月 1 日移植の生育状況 】 撮影日：7/21
ふくまる コシヒカリ



2. 適期収穫で玄米品質の向上を！

- ① 登熟期 (出穂期から成熟期) が高温の年は、白未熟粒 (乳白粒、背白粒、基白粒など) だけでなく、**胴割粒の発生が多くなります。特に刈り遅れるとさらに多くなるので、適期の収穫が大変重要**です。
- ② コンバインによる収穫に適した時期は、穂首近くに緑色を残した粳 (帯緑粳) が 10~5% 程度の時です。収穫時期が近づいたら、平均的な生育の株の穂を観察して、表 1 を参考に収穫作業の計画を立てます。特に経営規模の大きい方は、収穫作業をやや早めに開始し、作業が後になるほ場が刈り遅れにならないように工夫します。
- ③ 出穂期別の「穂首近くに緑色を残した粳が 10% になる時期」の目安は表 2 の通りです。気温等によって変わりますので、ほ場をよく観察して適期を逃さないようにしましょう。

表 1 帯緑粳率による収穫適期判定目安

帯緑粳率 (%)	刈取適期
20	6 ~ 7 日前
15	4 ~ 5 日前
10 ~ 5	適期
3	刈り遅れ

表 2 帯緑粳率 10% における出穂期後日数の目安

出穂期	出穂期後日数
7月下旬まで (あきたこまち、ふくまるなど)	33~35日
7月下旬~8月上旬 (コシヒカリ)	40日頃
7月下旬~8月上旬 (にじのきらめき)	45日頃
* 出穂期とは、圃場全体の穂の 40~50% が出現したとき。	

今年は暑いので、早まるかも

3. 適切な乾燥調製で玄米品質の向上を！

- ① 収穫作業は、粳水分が 25% 以下まで乾いてから行います。粳水分が高いほど、また高温であるほど変質しやすいため、収穫後はできるだけ早く (4 時間以内に) 乾燥機に張り込みましょう。
- ② **乾燥機の送風温度が高いと胴割粒が多くなります。**送風温度は 40℃ 以下になるように調整します。
- ③ 胴割粒の発生を防ぐには、まず常温通風や低温での加熱乾燥により水分を 17~18% まで乾燥させ、半日から 1 日程度貯留して水分の均一化を図り、その後再度加熱乾燥して水分 15% に仕上げる「二段乾燥法」が有効です。**仕上がり水分が 13.5% 前後と低くなると胴割粒が多くなりますので注意**します。
- ④ 粳すりは、穀温が外気温程度まで低下してから行います。温度が高いと肌づれ粒、胴割粒、碎粒が多くなります。
- ⑤ 白未熟粒や被害粒は粒厚が薄いものが多いので、1.85mm のふるい目を用いて、適正な流量による丁寧な選別で除きます。特に本年は、高温による白未熟粒や被害粒が多いほ場も予想されるので、**丁寧な選別や色彩選別機を活用して、整粒歩合を高めましょう。**

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 宮農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。